

45宿32次の宿場を擁する甲州街道。合宿を1つの宿に換算し、起点の日本橋と中山道に合流する終点の下諏訪宿を加えると、全部で34の宿場があります。それぞれの宿場で作成された甲州街道御宿場印は、その土地ならではの風景や物産、歴史的見どころなどが一目瞭然。街道歩きの新たな楽しみとして、ぜひ実物を手に取ってみてください。



▲14野田尻宿（上野原市観光協会提供）



▶1日本橋

23 22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1

出発

たくさん！
集めるのが
楽しみ～♪



1日本橋



日本橋の獅子像と
日本国道路元標

2内藤新宿



新宿今昔：江戸の宿場町
と令和のビル群

5府中宿



江戸名所図会／府中市
郷土の森博物館蔵

8駒木野宿・小仏宿



小仏関所跡とイチヨウ

7八王子宿



八王子まつりで
巡行する山車

10吉野宿



明治期の吉野宿本陣
五層楼

11関野宿



増珠寺

13鶴川宿



鶴川橋と鶴川宿入口

14野田尻宿



野田尻宿の町並み

16下鳥沢宿・上鳥沢宿



鳥沢宿と桃太郎伝説の雉

17猿橋宿



猿橋の前、大黒屋を
旅籠に見立てて

12上野原宿



牛倉神社

9小原宿・与瀬宿



小原宿本陣

6日野宿



日野市指定有形文化財
日野宿本陣

3下高井戸宿・上高井戸宿



下高井戸八幡神社と
高張提灯

4布田五宿



調布花火

15犬目宿



恋塚一里塚

一目で
分かる

甲州街道の宿場と 御宿場印一覧

到着

34

33

32

31

30

29

28

27

26

25

24



◀34下諏訪宿本陣岩波家の庭園
(下諏訪宿本陣岩波家提供)



▲29台ヶ原宿



33上諏訪宿

諏訪高島城と高島藩主
諏訪氏家紋



30教来石宿

下教来石諏訪神社



27甲府柳町宿

江戸時代後期の甲府/
山梨県立博物館蔵



24勝沼宿

甲斐国葡萄培養図
(大日本物産図会)



21下初狩宿・中初狩宿

初狩宿と雁



18駒橋宿

厄王山神社への
坂道と旅籠



34下諏訪宿

甲州道中と中山道が
交差する湯の町



31葛木宿

葛木宿
(甲州道中分間延絵図)



28韭崎宿

武田信義公の騎馬像



25栗原宿

諸国道中金の草鞋/
国立国会図書館蔵



22白野宿・阿弥陀海道宿・黒野田宿

矢立の杉と
笹子追分人形と黒子



19大月宿

天王神社の巨木と大月橋



32金沢宿



国宝土偶／縄文の
ビーナス・仮面の女神



29台ヶ原宿

台ヶ原宿の町並み
(七賢)



26石和宿

かつて甲州街道の
宿場町で栄えた伊沢宿



23駒飼宿・鶴瀬宿

鶴瀬宿・駒飼本陣跡標柱



20下花咲宿・上花咲宿

旅籠と国重要文化財の
星野家住宅





の市民団体紹介

応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

- ◆年会費：5000円
- ◆月1回ほどイベントのサポート活動
- ◆連絡先：hwk_onestep@yahoo.co.jp
080-5496-7437 (牧田)

八王子ウォーキング協会 ワンステップ

歩いて見える新世界



▲秋のウォーキングのようす

地域で社会貢献活動をするためのノウハウを学ぶ講座「はちおうじ志民塾」に参加した牧田香織さんと後藤洋治さんは、同じグループになって「ウォーキング」という研究テーマに取り組みます。これをきっかけに、受講後も2人でウォーキング活動を続け、2020年に会を設立しました。

「歩く」と、健康にも良いですし、参加する方々とのコミュニケーションも図れるんですよ」とウォーキングの魅力を語るのは、代表理事の牧田さん。会では定期的なイベントに加えて、理想の歩き方を目指す大腰筋ウォーキング

講習会、禅茶道やヨガとウォーキングとのコラボレーションなども展開しています。当初は八王子市内を中心にイベントを開催していましたが、いまでは調布や青梅など徐々に範囲も広がっています。

発足時は、ちょうど新型コロナウイルスが騒がれ始めた時期で、せっかく企画したイベントも軒並み中止になってしまいました。けれども活動を諦めることはなく、定期的な年に10回ほどウォーキングイベントを開催できるようになり、毎回大盛況となっています。

幸いにも3年のうちに天候の影響で中止になったのは2回のみ。毎回20〜30名の定員に、多いときには80名以上の応募もあり、その魅力にひかれて常連さんとなる参加者もいるとか。参加費は保険料込みで1回500円。企画・準備は牧田さんと後藤さんの2人で行い、現在7名いる会のスタッフがボランティアで当日の運営を手伝っています。

「1+1が2だけでなく、3にも4にもなるような、そんなイベントを企画していきたいですね」と語る後藤さん。これからも楽しみながら歩く企画を提供していく予定です。

小島善太郎と八王子

洋画家、小島善太郎は1892（明治25）年に東京で生まれ、40代から約40年間を八王子で過ごしました。少年期には極貧の生活を送りましたが、援助を得て絵を学び、パリに留学します。

帰国後、1932（昭和7）年には南多摩郡加住村（現八王子市丹木町）に転居し、瀧井孝作らと桑都文化協会を発足します（翌年八王子文化連盟に改組）。文化運動などを通じて市民と積極的にかかわり、1964年には小島を慕う人びとにより「愛善会」も組織されました。ところが、自宅敷地内に都道が建設されることになり、1971年に日野市百草に転居することになりました。

油彩画を始め、多くのデッサンや資料を保存している八王子市夢美術館では、収蔵品展などの機会に作品を紹介しています。また、青梅市立小島善太郎美術館、日野市立小島善太郎記念館（百草画荘）でも作品や資料を展示しています。百草画荘は、今年開館10年目を迎え、現在も次女の小島敦子さんがお父様の語り部としての役割を務めています。（「はちとび」19号、本誌P14広告参照）



小島善太郎と妻の恒子
（八王子のアトリエにて、1941年）

※ここは「はちとび」を応援してくださっている方々に自由に使っていただくフリースペースです。今回は「百草画草」です。

八王子の民俗誌 20

八王子地域社会研究会 代表 佐藤 広

二つの要素から成り立ってきた八王子

現在、八王子市域といえは高尾山から多摩ニュータウンの一部までを指すが、今回取り上げる「八王子」は市の中心部の明治22年（1889）に誕生した旧八王子町を主な範囲とする。

明治初め、八王子のことを「横山宿」と総称した時期がある（『八王子市史附編』25頁）。

佐藤孝太郎氏は『八王子物語下巻』で、横山宿の川口氏が神奈

川県庁にまちなちの名を「横山」と届けに行くのを、千人町の栗沢氏が馬で追いかけて、止めた話を紹介している。江戸から明治の初め、横山が、八王子が、住民の支持は分かれていた。これはまちの歴史から発している。

小田原の北条氏康の三男、氏照が天正年間（1573）に横山から八王子城に移った。このころ「八王子（今の元八王子）」という地名が使われて記録に残っている（『新八王子市史通史編2 中世』）。その城が天正18年（1590）に落城し、城下で一旦まちづくりが行われてから横山（現在の八王子市中心部）に移転した。移転先にあった村は元横山村と新横山村に分かれ、両村の間にできたまちは、幕府の正式名で「横山村（八王子宿）」となった。

大久保長安とその配下の代官たちが横山に陣屋をかまえ、まちづくりと武蔵国の行政を執り行った。元禄年間（1688～1704）になると代官衆は横山を去り、まちは役人ではなく商いをする人たちが主役となり、地方



▲八幡八雲神社の社殿は、八王子の二つの歴史を象徴している

経済の中心地となっていく。

私見たが、新たなまちに集った侍たちは、まちなちの名を旧地名と同じく「八王子」と呼んだのではないだろうか。とはいえ、移転以前に祀られていた神が土地を守護する地主神の考えから、「横山」の地名も大切にされ、八王子宿外の八幡神社（元横山村の鎮守）が下、多賀神社（本郷村の鎮守）が上の鎮守、つまり八王子宿の鎮守となったことも理解できる。

平安時代から鎌倉時代初期に活躍した横山党の根拠地としての「横山」（八幡八雲神社の八幡神社、牛頭天王（八幡八雲神社の八雲神社）のご神体が元八王子から川口を経て横山に流れ着いたというまちの移転を背景とした「八王子」の伝承。この二点が重層的に八王子の歴史を語ってきた。

八王子のまちは歴史的（時間）にも地域的（空間）にも二分されてきたが、対立と分断ではなく、相互に創造的に競い合い、発展してきたといえよう。

甲州街道を歩く

八王子自然探訪 6

八王子・日野カワセミ会 会長 粕谷 和夫



▲甲州街道沿いのヒガンバナ

1972（昭和47）年から77年までの約5年間、毎週日曜日に八王子駅前信号交差点から追分交差点までの甲州街道で歩行者天国が実施されていた。歩行者天国とは、一時的に車道を歩行者専用道とすることである。当時の横山町から八日町、八幡町の道路を歩いていると、よくツバメが飛び交っていて、商店街にはツバメの巣が多く見られた。1990年代になると高層マンションが目立つてくるようになり、ツバメの巣は見られなくなってしまったが、最近はこのようなマンションの屋上、ベランダや窓枠にインヒヨドリが姿を現すようになった。春から初夏のころにこの辺りで、「ピーツツピーピー」「ピュルピュルピーボー」などと複雑でありながら綺麗な声で鳴いているのがインヒヨドリである。主に海岸の崖地で生息しているこの鳥は、内陸の八王子のマンション群が岩場に見えてやって来たのかもしれない。ちなみにインヒヨドリのオスは模様に見える部分が多いため、「幸せの青い鳥」と呼ばれている。

甲州街道といえば、何といてもイチヨウ並木である。これは大正天皇の

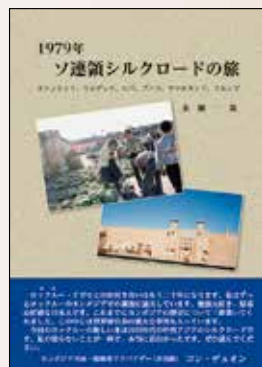
御陵造営を記念して1929年に植えられたもので、追分町交差点付近から高尾駅前にかけて左右両方の歩道脇に街路樹として植えられている。秋の黄葉とギンナンはよく目立つが、春の花に気がつく人は少ないのではないだろうか。イチヨウは雌雄異株で、雌花は花の頭が2個に分かれた形、雄花はブドウのようなつぶつぶの形をしている。花の開花時期は4～5月ごろで、このころにイチヨウ並木の下を歩くと、雄花の残骸があちこちに落ちていて、イチヨウの葉が色づく前の9月、並木の下でヒガンバナが赤い色どりを添えている。地元の方々の手入れが行き届き、歩いていて清々しさを感じることができる。

甲州街道を西に進み、高尾駅前を過ぎ、南浅川の両界橋の所の中央本線ガード下を抜けると西浅川の信号に出る。この丁字路を右折すると、旧甲州街道に入る。この旧道は「花の散歩道」と言っても過言ではない。野草、樹木に園芸種を含めると、年間で500種くらいの花に出合える。この中には四季を通じて高尾駒木野庭園に咲く花、小仏関所跡のサンシュユなども含まれる。また、近辺は「高尾梅郷」の名で梅の名所として知られ、毎年3月に「高尾梅郷まつり」が開催される。6月はアジサイが満開になり、夏は日影林道入口付近のツリフネソウ、キツリフネ、秋のシユウメイギクなど、1年中いつ散策しても花を楽しむことができる。

12

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。

1979年、1人の日本人の若者が未知の領域だったソ連領シルクロードを旅しました。高校の社会科教師になったばかりの著者の視点から、常識外れの出来事、悲喜こももとの人間模様、そして悠久の歴史を刻んだ遺構群が、つづきに綴られていきます。長旅の中では、日本人の常識からすれば考え難いさまざまなトラブルに見舞われ、著者はその都度、腹を立てますが、旅も後半になってくると、その状況に鷹揚に構えるようになります。そんな心境の変化も読み応えたっぷりの、40年の時を超えて、史料価値の非常に高い旅行記が満を持しての登場です。



1979年ソ連領シルクロードの旅
タシケント、ウルゲンチ、ヒバ、ブラ、サルカンド、フルゼ
永瀬一哉・著
★揺籃社・発行 2900円＋税
★A5判、340ページ
※本書はAMAZON POD限定販売です。お求めの際は当該編集部までお問い合わせください。

八王子市文化財保護審議会会長の相原悦夫さんによる、八王子の社寺建築研究をまとめた一書。本書の元となったのは著者による昭和50年代のフィールドワークで、市内にある社寺の中でも特に精緻な建築や彫刻の残る19か所が紹介されています。建築当時の技術力の高さに感嘆すると同時に、棟札や墨書に記された棟梁や世話人の名前からは町の息遣いが聞こえてくるようです。八王子の歴史の深さ、文化の重みを建築の観点から見つめられる研究書です。本書をお供にすれば、市内の神社や寺院への散策がより楽しいものになるでしょう。

八王子の社寺建築



相原悦夫 編著
八王子自治研究センター発行

八王子の社寺建築

相原悦夫・編著
★八王子自治研究センター文化出版部・発行 5000円＋税
★A5判、86ページ
※本書をお求めの際は、お近くの書店でご注文いただくか、当該編集部までお問い合わせください。

「夕焼小焼と八王子」(仮)

次号
予告

毎日夕方のチャイムで流れ、八王子市民ならば誰もが口ずさめる曲、「夕焼小焼」。今年はこの歌が生まれて100年の節目にあたります。次号では市内にある夕焼け小焼けにまつわるスポットや作詞者中村雨紅と八王子のかかわりなどを紹介します。情報募集中！

第55号(清風号)は
9月1日発行予定



広告募集中！

「はちとび54号」は10,000部を発行、右記の場所に配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中！

お客さんとのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとび」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揺籃社(清水工房内)
はちとび編集部

TEL (620) 2615
FAX (620) 2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとび」の置いてあるところ

公共施設

八王子観光コンベンション協会
八王子商工会議所
八王子市郷土資料館
八王子市中央図書館
八王子市川口図書館
八王子市南大沢図書館
八王子市生涯学習センター図書館
八王子市絹の道資料館
八王子市役所産業振興部
八王子市役所スポーツ振興課
道の駅「八王子滝山」
サイエンスドーム八王子
八王子クリエイトホール
八王子市学園都市センター
八王子市市民活動支援センター
八王子市子ども家庭支援センター
八王子市芸術文化会館いちょうホール
八王子市教育センター
八王子市南大沢事務所
八王子市南大沢文化会館
大学セミナーハウス
長池公園自然館
高尾山599ミュージアム
タヤけ小やけふれあいの里
市内各市民センター

お店・企業・学校

アート八王子
アクサ生命
街赤坂商店
御菓子司 旭苑
吾妻寿し
アメニティーライフ八王子
街荒物加島屋
小俣ダンススタジオ
café de la poste
cafe rin
ギャラリー・スペースことは
京嘴(株)
くまざわ書店
くまざわ書店京王八王子店
くまざわ書店西八王子店
㈱クラブS保険サービス
グループホームびおら
桑の実幼稚園
敬愛保育園
啓文堂高尾店
工学院大学
小谷野紙店
街埼玉屋本店
和食 坂福
坂本クリニック・坂本医院

JA八王子ふれあい市場
シミズパーク24
東京都立大学
スマイルこどもクリニック
せいがの森保育園
セブンイレブン八王子北口店
創価大学
高尾の森わくわくビレッジ
拓殖大学
そば・うどん 玉川亭
たましん散田店
多摩美術大学
中央大学
東京家政学院大学
東京工業高等専門学校
東京純心大学
東京造形大学
東京薬科大学
とみえ
中野屋商店
㈱日住
ハーモニーネット
はちねこ！カフェ
八王子エルシィ
八王子学園八王子高等学校
八王子中央自動車学校
八王子市役所売店「はっち」

八王子消化器病院
㈱富士屋
ふもとや
Coffee Bricks
ベネック
法政大学
まちの道 八王子CHITOSEYA
まつおか書房
松姫本店
街峰尾豆腐店
みやま大樹の苑
もくもくランド
山梨中央銀行八王子支店
㈱山六
有隣堂CELEO八王子店
竜泉寺の湯

その他団体など

サイバーシルクロード八王子
八王子法人会
八王子市医師会
八王子市職員等事業本部
八王子自治研究センター
八王子センター元氣
八王子いちょう祭り祭典委員会
墨のアトリエ墨童舎
はちとびサポーターの会

